

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3203209号
(U3203209)

(45) 発行日 平成28年3月17日 (2016. 3. 17)

(24) 登録日 平成28年2月24日 (2016. 2. 24)

(51) Int.Cl.	F 1
B 3 2 B 27/10 (2006.01)	B 3 2 B 27/10
B 3 2 B 27/00 (2006.01)	B 3 2 B 27/00 E
B 4 2 F 7/00 (2006.01)	B 4 2 F 7/00 D
B 4 2 F 7/02 (2006.01)	B 4 2 F 7/02
B 4 2 F 5/04 (2006.01)	B 4 2 F 5/04 B

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号	実願2016-23 (U2016-23)	(73) 実用新案権者	396001647
(22) 出願日	平成28年1月5日 (2016. 1. 5)		株式会社セイホー紙工
			東京都荒川区町屋 6 丁目 1 4 番 4 号
		(74) 代理人	100089026
			弁理士 木村 高明
		(72) 考案者	伊藤 文雄
			東京都荒川区町屋 6 丁目 1 4 番 4 号 株式
			会社セイホー紙工内

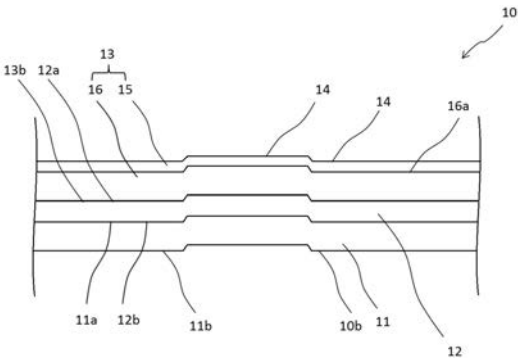
(54) 【考案の名称】 装飾シート及び装飾シートを備えた収納具

(57) 【要約】

【課題】
表面に塗料層と凹凸模様が付された装飾シートにおいて、紙製物品の表面に容易に貼着可能で、繰り返しの折り曲げ操作による破損を抑制でき、且つ低コストに製造することができる装飾シート及び装飾シートを備えた収納具を提供すること。

【解決手段】
紙製物品の表層に配される可撓性の装飾シート 1 0 であって、基材となる第一の紙製シート層 1 1 と、第一の紙製シート層 1 1 の表面に貼着された合成樹脂フィルム層 1 2 と、合成樹脂フィルム層 1 2 の表面に貼着された第二の紙製シート層 1 6 とを備え、第二の紙製シート層 1 6 は、凹凸模様 1 4 を備えていると共に表面には塗料が塗布されていること。

【選択図】 図 1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

紙製物品の表層に配される可撓性の装飾シートであって、基材となる第一の紙製シート層と、前記第一の紙製シート層の表面に貼着された合成樹脂フィルム層と、前記合成樹脂フィルム層の表面に貼着された第二の紙製シート層とを備え、前記第二の紙製シート層は、凹凸模様を備えていると共に表面には塗料が塗布されていることを特徴とする装飾シート。

【請求項 2】

前記第二の紙製シート層は漆紙であり、前記合成樹脂フィルム層はポリエチレンテレフタレートフィルムより構成されていることを特徴とする請求項 1 記載の装飾シート。

10

【請求項 3】

全体略横長方形の袋状に形成され、内方に書類を収納しうる紙製の収納具であって、収納具本体の周縁にはマチ部が形成されており、前記マチ部は、厚さ方向に並列して配される複数の折り曲げ線を有する蛇腹部を備えており、前記蛇腹部の表面には請求項 1 記載の装飾シートが貼着されたことを特徴とする収納具。

【請求項 4】

表表紙と前記表表紙に接続された裏表紙とが互いに隣接するように折り曲げ部より折り曲げられて見開き可能に形成された紙製の収納具本体部と、前記収納具本体部の内方には書類又はカードを保持し得る保持部とを備えた収納具であって、前記折り曲げ部の表面には請求項 1 記載の装飾シートが貼着されたことを特徴とする収納具。

20

【請求項 5】

前記収納具本体部は、1 枚の板状体を折り曲げることにより形成されており、前記裏表紙は、マチ部を介して前記表表紙に接続されていることを特徴とする請求項 4 記載の収納具。

【請求項 6】

前記保持部は、カードを保持し得る複数の袋状収納部を備えていることを特徴とする請求項 4 記載の収納具。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

30

本考案は紙製物品用の装飾シート及び装飾シートを備えた収納具の改良に関する。

【背景技術】**【0002】**

従来より、薄紙の一方の面に漆又はカシュー塗料やアルキド樹脂塗料を塗布したものは漆紙と称されている。漆紙は、さらに表面に凹凸模様を施されて独特の風合いによる高級感を備えた装飾紙として、紙製の容器や文具といった種々の物品の表面に配されて利用されている。

【0003】

一方で、紙製物品は可撓性があるため使用に際して撓むことがあり、その際に、紙製物品の本体の表面に配した装飾紙にも平面方向に伸縮させる負荷が発生する。特に、見開きの書類収納具のように、折り曲げ部を有する物品の場合、利用者が書類を収納又は取り出すために表紙を開閉させる度に折り曲げ部に負荷が発生する。

40

【0004】

前記のような書類収納具の外装として漆紙を全面に貼着して用いた場合には、利用者が使用する過程で繰り返しの開閉操作がされることにより、折り曲げ部の伸縮による疲労で折り曲げ部に貼着された漆紙が破れてしまうという事態が発生していた。

【0005】

一度折り曲げ部の漆紙が破れてしまうと、破れた箇所から書類収納具本体の素材が見えてしまうことから見栄えが劣化してしまい、本来備え持った高級感が得られなくなってしまうという不具合があった。

50

【 0 0 0 6 】

そこで、本願考案者は、このような観点から特許調査を行い特許文献 1 及び特許文献 2 を発見したが、特許文献 1 は、前述のような凹凸模様を備えた装飾シートに関するものではなかった。

【 0 0 0 7 】

また、特許文献 2 のブッククロス紙は、パルプ層の表面には着色や凹凸模様が施され、裏面には割繊維不織布を備えており、パルプ層のみの場合に比べて引裂強度を改善している。しかしながら、より低コストに製造可能な装飾シートが要望されていた。

【特許文献 1】特許第 4 0 3 9 5 3 7 号公報

【特許文献 2】公開実用新案第昭 4 9 - 8 8 0 0 3 号公報

10

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【 0 0 0 8 】

そこで、本考案は、このような従来の要請に基づくものであって、表面に塗料層と凹凸模様が付された装飾シートにおいて、紙製物品の表面に容易に貼着可能で、繰り返しの折り曲げ操作による破損を抑制でき、且つ低コストに製造することができる装飾シート及び装飾シートを備えた収納具を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 9 】

前記課題を解決するために、請求項 1 に記載の装飾シートにあっては、紙製物品の表層に配される可撓性の装飾シートであって、基材となる第一の紙製シート層と、前記第一の紙製シート層の表面に貼着された合成樹脂フィルム層と、前記合成樹脂フィルム層の表面に貼着された第二の紙製シート層とを備え、前記第二の紙製シート層は、凹凸模様を備えていると共に表面には塗料が塗布されていることを特徴とする。

20

【 0 0 1 0 】

従って、請求項 1 に記載の装飾シートは、装飾シートの表面を構成する第二の紙製シートは、凹凸模様を備えていると共に表面には塗料が塗布されている。

【 0 0 1 1 】

また、合成樹脂フィルム層を有していることから、紙製シートのみから構成される場合に比べて強度を向上させることができる。また、合成樹脂フィルムは割繊維不織布に比べて低コストである。

30

【 0 0 1 2 】

請求項 2 に記載の装飾シートにあっては、前記第二の紙製シート層は漆紙であり、前記合成樹脂フィルム層はポリエチレンテレフタレートフィルムより構成されていることを特徴とする。漆紙とは、薄紙の一方の面に漆又はカシュー塗料やアルキド樹脂塗料を塗布したものである。

【 0 0 1 3 】

請求項 3 に記載の収納具にあっては、全体略横長形状の袋状に形成され、内方に書類を収納しうる紙製の収納具であって、収納具本体の周縁にはマチ部が形成されており、前記マチ部は、厚さ方向に並列して配される複数の折り曲げ線を有する蛇腹部を備えており、前記蛇腹部の表面には請求項 1 に記載の装飾シートが貼着されたことを特徴とする。

40

【 0 0 1 4 】

従って、収納具本体の周縁にはマチ部が形成されており、前記マチ部は、厚さ方向に並列して配される複数の折り曲げ線を有する蛇腹部を備えていることから、収納具本体は、蛇腹部において厚さ方向に沿って伸縮可能である。

【 0 0 1 5 】

請求項 4 に記載の収納具にあっては、表表紙と前記表表紙に接続された裏表紙とが互いに隣接するように折り曲げ部より折り曲げられて見開き可能に形成された紙製の収納具本体部と、前記収納具本体部の内方には書類又はカードを保持し得る保持部とを備えた収納具であって、前記折り曲げ部の表面には請求項 1 に記載の装飾シートが貼着されたことを特

50

徴とする。

【0016】

請求項5に記載の装飾シートにあっては、前記収納具本体部は、1枚の板状体を折り曲げることにより形成されており、前記裏表紙は、マチ部を介して前記表表紙に接続されていることを特徴とする。従って、裏表紙は、マチ部を介して表表紙に接続されていることから、マチ部と表表紙及び裏表紙との境界線において折り曲げ部が形成される。

【0017】

請求項6に記載の装飾シートにあっては、前記保持部は、カードを保持し得る複数の袋状収納部を備えていることを特徴とする。

【考案の効果】

10

【0018】

請求項1に記載の装飾シートにあっては、表面を構成する第二の紙製シートは、凹凸模様を備えていると共に表面には塗料が塗布されていることから、興趣に富んだ装飾を提供することができる。また、裏面に位置する第一の紙製シートは、紙製であるため、同じ材質から構成される紙製物品の表面に対して容易に貼着可能である。

【0019】

また、紙製シートのみから構成される場合に比べて強度を向上させることができるため、紙製物品の折り曲げされる箇所に貼着することにより、繰り返しの折り曲げ操作による破損を抑制できる。また、割繊維不織布に比べて低コストに製造することができる。

【0020】

20

請求項2に記載の装飾シートにあっては、第二の紙製シート層は漆紙であることから、独特の光沢と風合いによる装飾を提供することができる。

【0021】

請求項3に記載の収納具にあっては、厚さ方向に沿って伸縮可能に構成された蛇腹部には、請求項1記載の装飾シートが貼着されていることから、繰り返し伸縮操作が行われた場合であっても、塗料等の装飾面に割れが生じて外観を損ねることがなく、収納具は長期に利用することができる。

【0022】

請求項4及び5に記載の収納具にあっては、表紙と裏表紙との境界線又はマチ部と表表紙及び裏表紙との境界線には折り曲げ部が形成され、折り曲げ部の表面には請求項1記載の装飾シートが貼着されていることから、表紙や裏表紙の見開き動作が繰り返行われた場合であっても、塗料等の装飾面に割れが生じて外観を損ねることがなく、収納具は長期に利用することができる。

30

【0023】

請求項6に記載の収納具にあっては、保持部は、カードを保持し得る複数の袋状収納部を備えていることから、名刺やその他のカードを収納しておくことができるカードホルダーとして利用することができる。

【図面の簡単な説明】

【0024】

【図1】図1は、本考案に係る装飾シートの一実施の形態を示した側面図である。

40

【図2】図2は、本考案に係る装飾シートを表層に備えた書類収納具の一実施の形態を示した斜視図である。

【図3】図3は、本考案に係る装飾シートを表層に備えたカード収納具の一実施の形態を示した斜視図である。

【図4】図4は、本考案に係る装飾シートを表層に備えたカード収納具の一実施の形態を示し、保持部の平面図である。

【考案を実施するための最良の形態】

【0025】

以下、本考案に係る装飾シートを実施の形態に基づき、図面を参照して詳細に説明する。

50

【 0 0 2 6 】

図 1 に示すように、本実施の形態に係る装飾シート 1 0 は、紙製物品の表層に配される可撓性の装飾シートである。

装飾シート 1 0 は、基材となる第一の紙製シート層 1 1 と、第一の紙製シート層 1 1 の表面 1 1 a に貼着された合成樹脂フィルム層 1 2 と、合成樹脂フィルム層 1 2 の表面 1 2 a に貼着された第二の紙製シート層 1 6 とを備えている。第二の紙製シート層 1 6 は、凹凸模様 1 4 を備えていると共に表面 1 6 a には塗料が塗布されて塗料層 1 5 が形成された漆紙 1 3 である。

【 0 0 2 7 】

本実施の形態においては、合成樹脂フィルム層 1 2 は二軸延伸ポリエチレンテレフタレートフィルムより構成されている。第二の紙製シート層 1 6 は、表面 1 6 a にカシュー塗料により光沢を有する塗料層 1 5 が形成されている。第一の紙製シート層 1 1 及び漆紙 1 3 の原紙は、約 0 . 4 mm の厚さ寸法からなるクラフト紙が用いられる。

【 0 0 2 8 】

図 1 に示すように、第一の紙製シート層 1 1 の表面 1 1 a と合成樹脂フィルム層 1 2 の裏面 1 2 b 及び合成樹脂フィルム層 1 2 の表面 1 2 a と漆紙 1 3 の裏面 1 3 b は、互いに接着剤層（図示せず）を介して貼着されている。本実施の形態においては、接着剤は合成樹脂類と酢酸エチルを主成分とする構接着剤を用いている。

【 0 0 2 9 】

装飾シート 1 0 を製造する際には、第一の紙製シート層 1 1 、合成樹脂フィルム層 1 2 、第二の紙製シート層 1 6 であるクラフト紙を互いに接着剤が融解する温度に維持しながら貼着した後、プレス機にて任意の模様の型を用いてプレスすることにより凹凸模様 1 4 を形成する。従って、本実施の形態においては、第一の紙製シート層 1 1 、合成樹脂フィルム 1 2 及び第二の紙製シート層 1 6 が一体となった状態において全体に凹凸模様 1 4 が形成されている。

【 0 0 3 0 】

その後、第二の紙製シート層 1 6 であるクラフト紙にカシュー塗料を塗布して光沢を有する塗料層 1 5 が形成される。本実施の形態においては、凹凸模様 1 4 は草花の模様である。草花の模様は、草花を台上に突出させるようにプレスすることにより、他の箇所との高低差により凹凸模様 1 4 を形成している。合成樹脂フィルム層 1 2 は両面にコロナ処理を施し接着性を向上させたものを用いている。

【 0 0 3 1 】

以下、本実施の形態に係る装飾シート 1 0 の作用について、図面を参照して詳細に説明する。本実施の形態に係る装飾シート 1 0 は、以上のような構成を備えていることから、図 1 に示すように、装飾シート 1 0 の表面には、草花の模様が台状に突出するようにして凹凸模様 1 4 が形成されるため立体感のある装飾性を備える一方で、表面にはカシュー塗料による塗料層 1 5 が設けられ光沢が付与された漆紙 1 3 が配されるため漆のような独特な艶と色味を備えている。

【 0 0 3 2 】

また、合成樹脂フィルム層 1 2 を有していることから、第一の紙製シート層 1 1 及び漆紙 1 3 といった紙製シートのみから構成される場合に比べて強度を向上させることができる。また、合成樹脂フィルムは割繊維不織布に比べて低コストであるため、より低コストに製造することができる。

【 0 0 3 3 】

図 1 に示すように、装飾シート 1 0 は、裏面側に第一の紙製シート層 1 1 を備えていることから、例えば以下に説明するような紙製物品に貼着する際には、紙と紙との接着となるため一般の糊剤などを利用して容易に且つ強固に接着することができるという利点がある。

【 0 0 3 4 】

次に、本実施の形態に係る装飾シート 1 0 を表層に備えた書類収納具 2 0 について図面

10

20

30

40

50

を参照して詳細に説明する。装飾シート 10 の構成については前述のとおり構成を備えており同一の符号を付して説明は省略する。

【0035】

図 2 に示すように、書類収納具 20 は、厚紙製であり全体横長形状の袋状に形成された書類収納具本体 21 を備え内方に A4 サイズの書類を収納しうる。書類収納具本体 21 は、長辺側一端部には、書類を出し入れしうる開口部 25 と開口部 25 を覆うことのできる蓋部 26 が設けられており、蓋部 26 は磁石 27 により開口部 25 を覆った状態で係止できるように構成されている。

【0036】

図 2 に示すように、書類収納具本体 21 の周縁にはマチ部 22 が形成されており、マチ部 22 は、厚さ方向に並列して配される複数の折り曲げ線 23 を有する蛇腹部 24 を備えて厚さ方向に沿って伸縮可能に形成されている。

【0037】

本実施の形態においては、書類収納具 20 は、蛇腹部 24 の表面を含む書類収納具本体 21 の表層全域に亘って装飾シート 10 が貼着されている。貼着は、装飾シート 10 の裏面 10b に糊剤を塗布した状態で、書類収納具本体 21 に貼り合わせるにより行われる。

【0038】

以下、本実施の形態に係る装飾シート 10 を表層に備えた書類収納具 20 の作用について、図面を参照して詳細に説明する。本実施の形態に係る装飾シート 10 を表層に備えた書類収納具 20 は以上のように構成されていることから、図 2 に示すように、磁石 27 による係止を解いて蓋部 26 を開放することによって、開口部 25 より書類を挿入して書類収納具本体 21 の内方に収納して保管あるいは持ち運びすることができる。

【0039】

書類収納具本体 21 のマチ部 22 は蛇腹部 24 を備えており、蛇腹部 24 は、書類収納具本体 21 の長さ方向及び幅方向に沿って直線状に設けられると共に、厚さ方向に複数隣接して設けられる折り曲げ線 23、23、23、23、23 を備えていることから、書類収納具本体 21 は、厚さ寸法以上の書類を挿入した際には、各折り曲げ線 23、23、23、23、23 において蛇腹部 24 が拡開することにより、書類収納具本体 21 の厚さ寸法が大きくなる。他方で書類取出し後は、蛇腹部 24 が折畳まれて元の厚さ寸法に戻る。

【0040】

前述のように、書類収納具 20 の書類収納具本体 21 は、使用する度に折畳み動作及び拡開動作が繰り返し行われて、各折り曲げ線 23、23、23、23、23 において引裂き方向の負荷が加わる。その際、装飾シート 10 は、合成樹脂フィルム層 12 を有していることから漆紙 13 の破れ等の破損を抑制して、美しい装飾性を長期に保つことができ書類収納具 20 は長期に利用することができる。

【0041】

次に、本実施の形態に係る装飾シート 10 を表層に備えたカード収納具 30 について図面を参照して詳細に説明する。装飾シート 10 の構成については前述のとおり構成を備えており同一の符号を付して説明は省略する。

【0042】

図 3 に示すように、カード収納具 30 は、表表紙 31 と表表紙 31 に接続された裏表紙 32 とが互いに隣接するように折り曲げ部 33 より折り曲げられて見開き可能に形成された収納具本体部 34 を備えている。

【0043】

本実施の形態においては、収納具本体部 34 は、1 枚の厚紙の板状体を折り曲げることにより全体縦長長形状に形成されており、裏表紙 32 は、マチ部 35 を介して表表紙 31 に接続されており、折り曲げ部 33 は表表紙 31 とマチ部 35 及び裏表紙 32 とマチ部 35 との境界に夫々直線状に形成されている。

【0044】

10

20

30

40

50

図 3 に示すように、収納具本体部 3 4 の見開き内方にはカードを保持し得る保持部 3 6 を備えている。保持部 3 6 は、擦り硝子状の合成樹脂シートより構成されている。

【 0 0 4 5 】

図 3 及び図 4 に示すように、前記カードは名刺であり、保持部 3 6 は複数枚の名刺を収納して保持しうる袋状収納部 3 8 を備えている。保持部 3 6 は高さ方向に 3 つのリベット孔部 4 0 が備えられておりマチ部 3 5 にリベット 3 7 により固定されている。本実施の形態においては、袋状収納部 3 8 は、1 の頁に上下に 2 つ、厚さ方向に 2 つの計 4 つ設けられており保持部 3 6 のマチ部 3 5 側に収納開口部 3 9 を備えている。

【 0 0 4 6 】

収納具本体部 3 4 の折り曲げ部 3 3 の表面を含む表表紙 3 1、裏表紙 3 2 及びマチ部 3 5 には、表層全域に亘って装飾シート 1 0 が貼着されている。図 1 及び図 3 に示すように、貼着は、装飾シート 1 0 の裏面 1 0 b に糊剤を塗布した状態で、表表紙 3 1、裏表紙 3 2 及びマチ部 3 5 に夫々貼り合せることにより行われる。

【 0 0 4 7 】

前記実施の形態においては、保持部 3 6 は、名刺を保持しうる袋状収納部 3 8 を備えている例を説明したが、これに限定されることはなく、例えば、A 4、B 5 といった書類を収納しうる大きさの袋状収納部 3 8 であっても良く、また、例えば、ルーズリーフのように端部にパンチ穴を設けた書類を保持しうる保持具であっても良い。用途に合わせて適宜選択されうる。

【 0 0 4 8 】

以下、本実施の形態に係る装飾シート 1 0 を表層に備えたカード収納具 3 0 の作用について、図面を参照して詳細に説明する。

図 3 及び図 4 に示すように、本実施の形態に係る装飾シート 1 0 を表層に備えたカード収納具 3 0 は、以上のように構成されていることから、表表紙 3 1 を開いて保持部 3 6 の袋状収納部 3 8 に収納開口部 3 9 より横方向にスライドさせながら名刺を収納し、保管または持ち運びすることができる。

【 0 0 4 9 】

表表紙 3 1 や裏表紙 3 2 とマチ部 3 5 との境界に設けられた折り曲げ部 3 3、3 3 には、前述のように収納または取り出し動作の度に、折り曲げまたは拡開動作が行われ引裂き方向の負荷が加わる。

【 0 0 5 0 】

その際、装飾シート 1 0 は、合成樹脂フィルム層 1 2 を有していることから漆紙 1 3 の破れ等の破損を抑制して、美しい装飾性を長期に保つことができカード収納具 3 0 は長期に利用することができる。

【産業上の利用可能性】

【 0 0 5 1 】

本考案に係る装飾シートは収納具等の紙製物品に広く適用することができることから産業上利用可能性を有している。

【符号の説明】

【 0 0 5 2 】

- 1 0 装飾シート
- 1 1 第一の紙製シート層
- 1 2 合成樹脂フィルム層
- 1 3 漆紙
- 1 4 凹凸模様
- 1 5 塗料層
- 1 6 クラフト紙（第二の紙製シート層）
- 2 0 書類収納具
- 2 1 書類収納具本体
- 2 2 マチ部

10

20

30

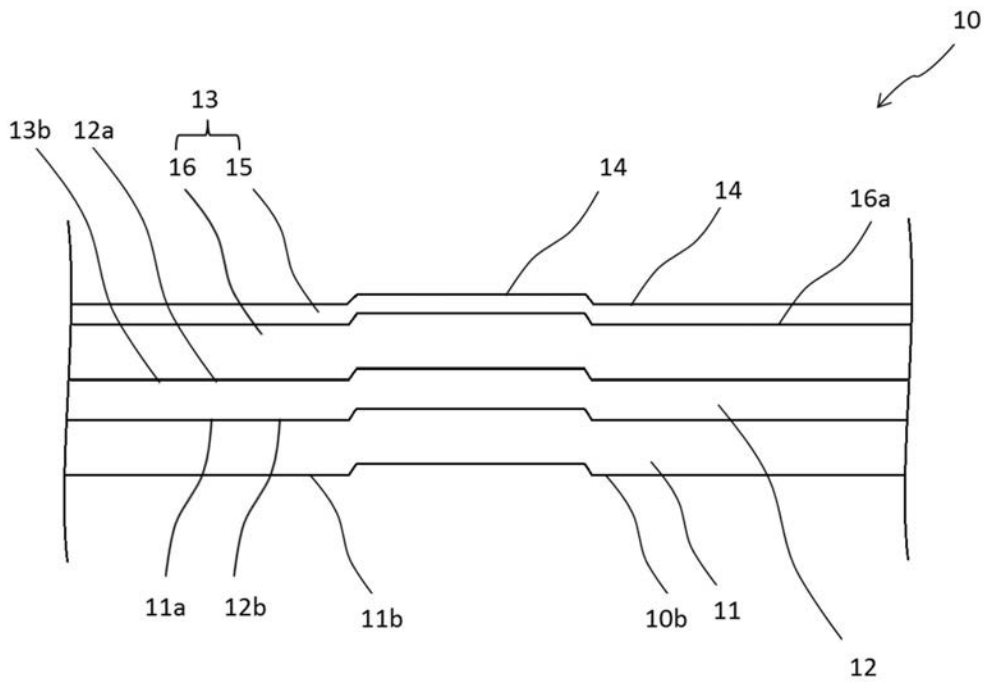
40

50

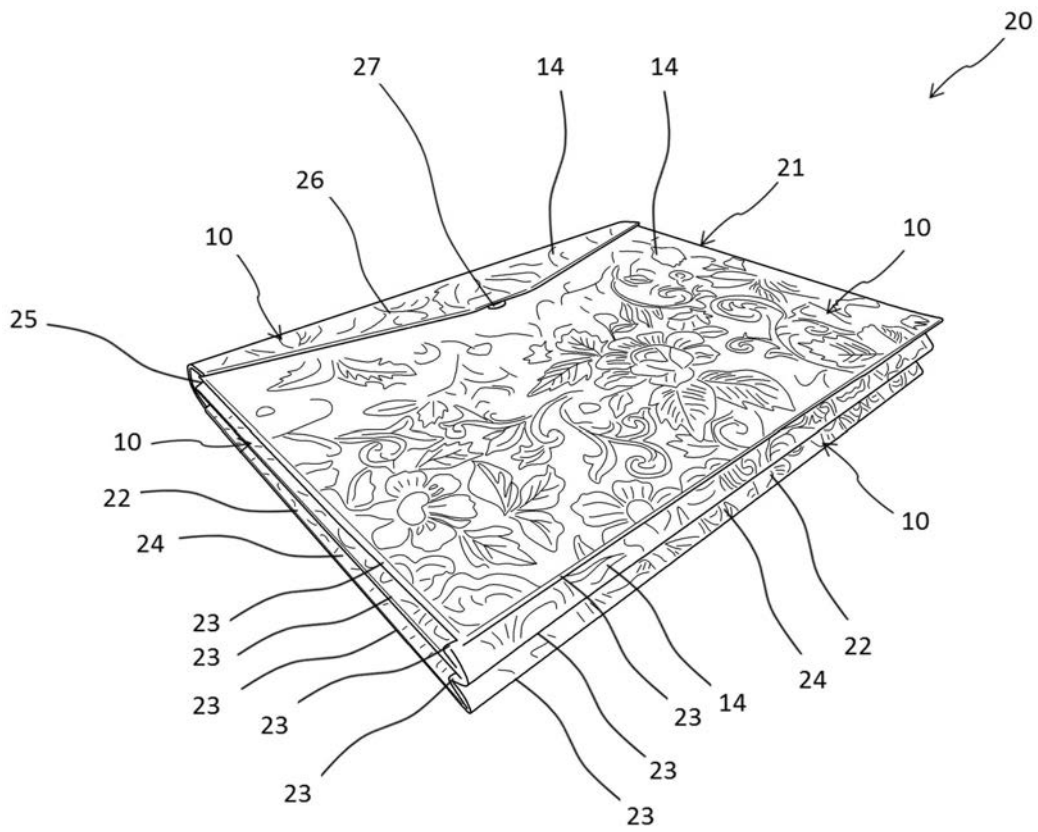
- 2 3 折り曲げ線
- 2 4 蛇腹部
- 2 5 開口部
- 2 6 蓋部
- 2 7 磁石
- 3 0 カード収納具
- 3 1 表表紙
- 3 2 裏表紙
- 3 3 折り曲げ部
- 3 4 収納具本体部
- 3 5 マチ部
- 3 6 保持部
- 3 7 リベット
- 3 8 袋状収納部
- 3 9 収納開口部
- 4 0 リベット孔部

10

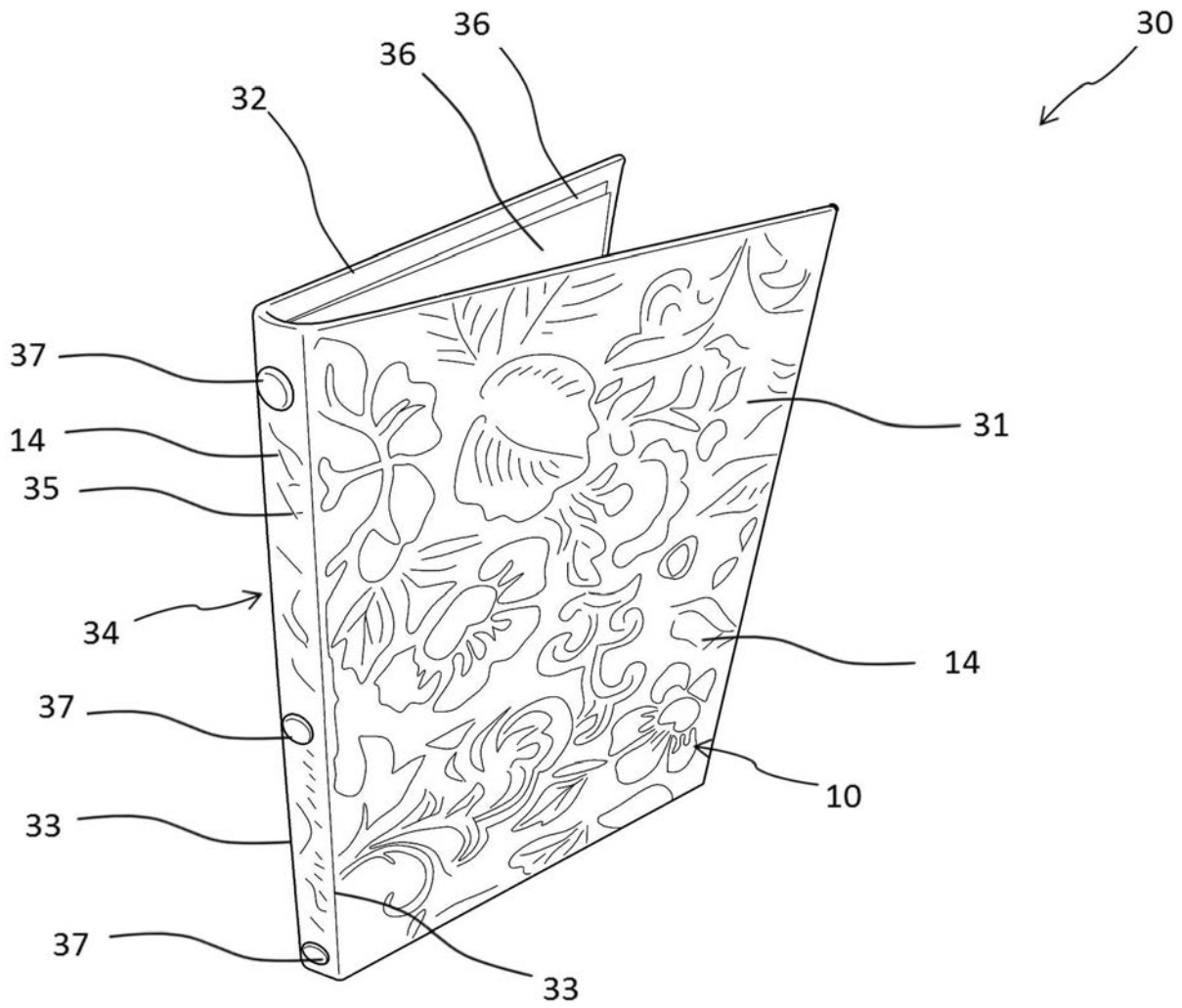
【 図 1 】



【 図 2 】



【図 3】



【 図 4 】

